

『知れば変わる税の印象』

練馬区立北町中学校 二学年 本間 詩乃

税についての作文、というテーマを与えられ、考えてみたが難しい。そこでまずは、日常生活の中で自分に関わりがあると感じた税と税金の使い道を挙げていく。

納めている税で思いついたのは消費税。商品を買ったり、サービスの提供を受けた時に国に納める税金だ。小一の頃五百円までお菓子を買おうと必死に計算している時に出会った。税金の使い道も知らず、計算が面倒になる不思議な制度だなと思っていた。

そんな私が税金の使い道を知ったのは小学校高学年、顎を怪我して病院で初めての縫合手術をした時だった。手術、となると高い費用がかかるのではと申し訳なく、母に謝ると「子ども医療費助成」の存在を教えてください。

東京都では、今は高校三年生まで医療費助成が受けられる。そしてそのお金は税金で賄われているそう。大きな怪我もお金の心配をすることなく治療してもらえるのは素晴らしいことだと思つ。子供を守る、ひいては日本の未来を守ることに繋がる税金の使い道だと感じた。

もう一つ私が知っている使い道は教育費。教科書の裏表紙に「税金によって無償で支給されています。」と記載されていることは知っていたがあまり深く考えたことはなかった。しかし今回調べてみて、小中学校の九年间で九百万円弱もの教育費が税金で賄われていることを知った。教科書に記載されていた言葉は、ただの事実であるだけでなく、期待が込められた暖かいエールだと思う。

以上が自分と税金の関わりだと思つていたが、それはほんの一部だった。私は税金のない世界が描かれた動画を見た。道路は陥没し、整備されることもない。警察や消防車、救急車を呼ぶのに大金がかかる。教育を受けることはお金持ちの特権で、子供は労働を迫られ、行き場を失ってしまう。老人も年金が受け取れず働かなくては生きていけない。税金を払わなくて良い代わりに恐ろしい世界が広がっていた。私はこの動画を見て、普段歩いている道から当たり前だと思つている権利まですべて税金に支えられていた事を知った。

老若男女全ての人の日常を守っている税。

しかし、ニュースやネットで税金にネガティブな印象を持っている人は多い。それはきっと、私も含め多くの人々が自分の「負担」のみに大きく着目してしまうからだと思う。私はまだ中学生で、消費税でしか納税できないが、国民が負担していく部分・その負担した税金によって支えられている部分両方の視点で日本の未来を良くする「税」の在り方を学び続けたい。